



周囲(友達や教員)の理解はどうしたらよい?

まずは、担任の先生が理解をお願いします

「担任の先生がわかってきている」という安心感が大切です。



具体的には・・・

先生の方から ことばの様子等について 話しかける (2人で)

年度初め 長期休業後
変化があったとき
行事の前 などに

友達や他の先生のいない
安心できる 話しやすい
場所で

「話しにくくて 困っていることは ない？」
「最近、話し方の調子はどう？」
「発表／音読／日直の 仕方はどうしょうか？」
「友達とのトラブルは ない？」
「困ったことや 話したいことがあったら
いつでも 言ってね」
など

接し方は 「ゆったりと」「最後まで聞く」「内容に注意を向けて」

※詳しくは [学校\(担任\)の先生の接し方①②](#) [困りやすい場面とその対応](#) をご覧ください

本人の吃音について 対応や考え方を 保護者と話す

◎保護者と共通理解のもと、対応していくことが 大切だと思います。

◎保護者から 家庭での吃音の様子や 保護者の考え方なども
聞けるとよいでしょう。

◎家庭と学校では、吃音症状が異なる場合も あります。





学校全体で 吃音への理解と 協力をお願いします

担任の先生だけでなく 他の先生にも 周知を

教科によっては、担任以外の教員と 関わることもあります。同じ対応が できるよう、学校の全教員に 吃音のことを 正しく知ってもらえるとよい と思います。

なお、必要に応じ、教員向けに 通級担当が 吃音についての研修をすることも 可能(近隣の学校)ですので、その際は、当教室までご連絡ください。

学級の友達にも 理解してもらうことが 大切です

どもっても 笑われない、からかわれない 環境づくり



友達にからかわれると……



このような思いから
自信をなくし 吃音が悪化したり 話したくなくなったり
することがあります

そこで、学級の友達に 担任の先生が (吃音の)話をする場合は・・・

本人と相談する

みんなに話しても
よいか？



本人がいる所で？
いない所で？

どのように話すのが
よいか？

自分からも話したいか？

話す内容を本人と相談します

からかわれることが あったら 先生が
注意することを 本人に 伝えておく

全体には 話さない

どのように話すのが
よいか？

吃音のことを 周囲の友達(学級全体)に 話してもよい となったら・・・
具体的に 例えば・・・ <本人とよく相談しましょう>

言葉が 出にくいときや くり返すときがあります。

症状

つかえたり 間があいたりすることが あります。

話し終わるまでに 時間がかかることが あります。

吃音の特徴

いつも言えないわけでは ありません。

話したいことがあっても 言葉が出ないことが あります。

わざとでは ありません。

話し方の くせのような ものです。

話し方は、みんなちがいます。悪いことでは ありません。

こういう話し方は、～さんだけでは ありません。



気にしないで 最後まで 聞きましょう。

お願い

せかしたり 先に言ったりしないで ゆっくり聞きましょう。

みんなが ゆっくりと話を聞くと、～さんも話しやすいので
協力してください。

みんなの ちがいを 認め合いましょう。

具体的に 相談したい場合は



学級で吃音の話をしたけれど・・・
どうしたらよいのか わからない。
話した方が いいと思うけれど・・・

ご連絡いただければ、相談に応じます。

桐生市立菱小学校 通級指導教室(言語・難聴)

電話 0277-44-8114

Mail tsukyu@city.kiryu.gunma.jp

※桐生市内小中学校は C4+hも可。

